

森づくり 支援倶楽部

Member's Magazine vol.13 2012/02

花粉の少ない森づくり運動推進委員会

2012 年花粉飛散時期一斉 PR

「森づくり支援倶楽部」会員制度改定

企業の森事業報告

平成24年春の花粉飛散予測について

花粉の少ない森づくり運動メールマガジン

「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会

東京都では、広く都民や企業の皆さんに参加と協力を呼びかけ「花粉の少ない森づくり運動」を開始し、これまで募金活動や多摩産材の利用促進などを展開してきました。この運動をさらに拡大するため、「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を設置しています。

委員会の会長に養老孟司氏、副会長に C.W. ニコル氏と村山貢司氏が選任され、東京都森林組合連合会、東京都商工連合会、東京都医師会、東京都市長会などの様々な団体の代表や学識経験者などで構成されています。

1月16日に6回目の推進委員会が開催されました。始めに、これまでのスギ花粉対策の取り組みについて報告がなされ、検討事項として「2012年花粉飛散時期一斉PR」と「都民、企業等が参加する森づくりの推進」について提示されました。

一斉PR事業では、東京マラソンとのコラボレーションPRや小学校などのお箸づくり、都営地下鉄駅構内などのポスター掲示や都内各所にて多摩産材のPRブースを設置する等の取り組みを行い、花粉の少ない森づくり運動の普及啓発を推し進めていくこととなりました。(一斉PRイベントについては次頁をご覧ください)

また東京都の森林整備について、それぞれの立場から意見が出されました。

まず、東京都が国に先駆け展開している「集約化施業※」について、現場の意見として東京都森林組合長小峰委員から、作業道を取り付ける林道の整備が一番重要であり、都も林業整備に重点を置いて取り組んでいただきたいとの発言がありました。このことに関連し、C.W.ニコル副会長からも、技術力のある日本なら林業に使っている機械をもっと改善できるはず、また作業道や林道は、木が育つ間、レクリエーションとか癒しとか教育に使うべきとの提言がありました。

林業家であり保育園を自身で経営されている福田委員からは、園児の木育についてのお話がありました。箸づくりではないけれども、園児たちにしゃもじづくりを体験させており、端材から糸ノコなどを使いきれいに仕上がる過程を経験させることは子供たちの成長においても大きいことだと、そしてトイレやドアなど身近なところの木質化と、そしてそれらを作る職人の育成も必要ではないかと、自身の経験から語っていました。

企業の森関連イベントのサポートをしている森づくりフォーラム理事久保田委員からは、「普段都市部で生活している企業の社員らが、一日山に来て植樹や下刈りの作業を行うことは、非常に意義のあることだと思う。企業の中には、社員みずから作業できる体制をつくっているところもある。行政としても、企業の中に、森づくり活動を担うような集団を意識的につくって対応すると、企業の森も一段と発展性というのが見えるのではないか」との進言がありました。

それから花粉症の治療法として都が進めている「舌下減感作療法」について、医師の角田副会長及び村山副会長が触れ、皮下注射を必要とする既存の治療法に比べ、非常に楽な方法で治療できることや、現在実用化に向けて開発治験中であることが紹介されました。

まとめとして、養老会長から花粉発生源対策を進めていく上で森林整備への理解を深めていくことが大切であり、様々な意見を参考にしながら取り組みをわかりやすく実行していきたいと、結びの言葉がありました。

最後に佐藤副知事の挨拶があり、森林に対する都民の意識、人が森を考える機会を多くつくること、小さなころから東京の森に親しむことを着実にやっていくことが非常に大切であるとの感想を述べ、そして本会の意見をできるだけ積極的に取り込んだ形で、今後の森づくり、花粉症対策を進めていくと声明されました。

【花粉の少ない森づくり運動推進委員会】

会長 養老 孟司 (東京大学名誉教授)

副会長 C.W.ニコル (作家)

村山 貢司 (気象予報士)

角田 徹 (東京都医師会理事)

委員 林業家・学識経験者・団体代表者など21名





東京の森の花粉を減らそう！

2012年花粉飛散時期一斉PR

東京都と（公財）東京都農林水産振興財団では、「花粉の少ない森づくり」を都民の方々に広く知っていただくために、花粉が多く飛散する2月から3月にかけて、PR活動を集中的に実施しています。



都営地下鉄でのポスター掲示

都営地下鉄の10駅（新宿駅、新宿三丁目駅、神保町駅、六本木駅、日比谷駅、三田駅、汐留駅、新橋駅、東銀座駅、日本橋駅）の構内で、2月23日から2月29日まで花粉の少ない森づくりPRポスターを掲示します。



地下鉄掲示のポスター

東京都民銀行等でのPRブースの展示

2月～3月にかけて、東京都民銀行4店舗（小岩支店、渋谷支店、玉川学園支店、百草支店）及びエコギャラリー新宿、道の駅八王子滝山において、多摩産材で作製したPRブースを展示します。



PRブース

イベント

花粉の少ない森づくりを進めるためには、多摩のスギ林を伐採した木（多摩産材）を使うことが重要です。そこで、多摩産材を活用した箸づくり体験等を実施します。

【場所】道の駅八王子滝山

【日時】3月10日（土）10時～15時

【内容】多摩産材を活用した箸づくり、パネル展示

【参加方法】

200円以上の募金でおはしづくりキットをお渡しします。

その場でおはしづくり体験をすることもできます。

当日受付にてお申込み下さい。（受付随時）



< イベント実施報告 >

◆1月28日（土）に行われた「新宿まちの先生見本市」に出展、木片を使った工作とパネル展示を行いました。



◆2月18日（土）19日（日）に行われた「2012たま食育フェスタ in せいせき」にておはしづくり体験を行いました。



○ 小学校における箸づくり等体験も実施 ○

小学校において、授業の一環として多摩産材を原料に箸づくりを実施します。直に木に触れてもらう機会をすることにより、木を使うことの重要性を伝えます。

< イベントおよび一斉PR全体に関する問い合わせ先 >

（公財）東京都農林水産振興財団 花粉の少ない森づくり運動担当 TEL:0428-20-8153 FAX:0428-22-1489

information

東京都民銀行 「花粉の少ない森づくり定期」をご存知ですか？

花粉飛散時期である2月1日～3月30日まで取り扱われている定期預金です。この預金を通じて集められた預金残高に応じて「花粉の少ない森づくり募金」に寄付されます。預けているお客様への負担はありません。

この定期は今年で4回目。これまでに、約2,700本の花粉の少ないスギ植え替えに相当する募金をいただいています。詳しくは、東京都民銀行のホームページ <http://www.tominbank.co.jp/> または、銀行窓口にてお問い合わせ下さい。

「森づくり支援倶楽部」会員制度改定

24年度から新しい会員制度を導入します！

森づくり支援倶楽部は、昨秋で丸5年経ちました。花粉の少ない森づくりを継続的にサポートする都民参加型の事業として、会員の皆様のご理解とご協力のもと本倶楽部を運営してまいりました。

さらに多くの方々に、東京都の取り組む森づくりへのご理解とご協力、そして積極的にご参加いただけるよう、会員制度の改定を行いました。

特典につきましても、森づくりイベントでは、植樹作業だけでなく、自然に親しみ“森林”ならではの楽しい体験ができるイベントを企画しております。

また会報誌の年間発行回数を増やし、様々な情報をお届けしてまいります。

毎月発信しているメールマガジンも、タイムリーな話題などを取り上げ、読み応えのある内容を発信してまいります。

今後も、会員の皆様のご意見やご要望を受け、本倶楽部が一層伸展していけるよう努力してまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

24年度 森づくり支援倶楽部会員 募集内容

個人会員（下記の2種）

- 1 正会員 年会費 3,000円（毎年4月1日更新） 入会金 なし
ご家族も一緒に登録できます（最大6名まで）

会員特典：多摩産材製品（初めての方は会員証）、協賛施設割引券（20枚綴）、温泉施設半額券、会報誌
また、森づくり支援倶楽部主催の森づくりイベントに無料でご参加できます！

※ご家族の特典：登録人数分の会員証発行とイベント参加費は無償です。その他の特典は1名分とさせていただきます。

現在個人会員で引き続き正会員になられた方を対象に、
応募者の中から抽選で20名様に多摩産材のボールペンをプレゼント！

- 2 サポート会員 入会金 1,000円 / 1人（更新時支払いなし） 年会費 なし
過去に個人会員だった方は、登録だけでサポート会員になれます（支払いなし）

会員特典：木製会員証（新規）、協賛施設割引券、会報誌（本倶楽部主催の森づくりイベントは有償となります）
※退会のお申し出がない限り、毎年4月1日に自動更新されます。

法人会員（下記の2種）

- 1 賛助会員 年会費 50,000円 / 1法人

会員特典：多摩産材製品（初めての方は会員証）、協賛施設割引券（20枚綴）、温泉施設半額券、会報誌
※割引券・会報誌などの送付部数は、基本的に10部としておりますが、ご希望数量をご相談ください。

- 2 特別会員 企業の森等に参画している企業・団体

会員特典：木製会員証、協賛施設割引券（20枚綴）、会報誌
※割引券・会報誌などの送付部数は、基本的に10部としております。必要な場合はデータにてご提供させていただきます。

会員の皆様には、3月中に専用の申し込み用紙を送付いたします！

企業の森事業報告

第17号企業の森締結「企業の森・リコーロジスティクスグループ（御岳）」

花粉の少ない森づくり運動の一つに「企業の森」事業があります。運動に賛同した企業・団体が、森林整備費の出資や社員らによる森林ボランティア活動などを通じて森づくりを行っています。

昨年12月28日に第17号となる「企業の森・リコーロジスティクスグループ（御岳）」の協定が締結されました。

リコーロジスティクス株式会社は「地球環

境にやさしい循環型物流”をモットーに、環境対策に全社をあげ取り組まれています。今回、CO₂を吸収する森林の保全によって地球温暖化防止を行えると考え、企業の森に参画されました。

今後約10年にわたり、グループ社員を中心に、植樹・下刈りなどの森林整備活動をされる予定です。

5月には植樹会が予定されています。



企業の森活動報告

企業の森に参画している企業・団体による森林整備のボランティア活動を行っています。

昨年9月から11月にかけて行われた活動を下表にてご報告いたします。

企業の森第9号「新宿の森 あきる野(企業の森)」と第16号「企業の森・社団法人青梅法人会(長淵)」が協定締結後、初めてのイベントを行いました。ともに植樹体験と現地看板の除幕式を行いました。

「新宿の森 あきる野(企業の森)」では、新宿区長、あきる野市長をはじめ総勢140名を超える区民・市民が参加し、盛大なイベントが行われました。



①	9月10日(土) 「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」 植樹イベント(広葉樹130本) 参加者32名
②	9月17日(土) 「企業の森・黒田電気(青梅)」 下刈イベント(作業面積0.37ha) 参加者38名
③	9月20日(火) 「企業の森・ネットヨタ多摩(青梅市成木)」 下刈イベント※作業は雨で中止 参加者60名
④	9月23日(金) 「企業の森・NTTコムウェア(青梅)」 下刈イベント(作業面積0.5ha) 参加者47名
⑤	9月24日(土) 「企業の森・いなげや(青梅)」 下刈イベント(作業面積0.5ha) 参加者45名
⑥	9月28日(水) 「企業の森・東栄住宅(あきる野)」 下刈イベント(作業面積0.68ha) 参加者20名
⑦	10月1日(土) 「企業の森・東芝(御岳)」 下刈イベント(作業面積1.0ha) 参加者67名
⑧	10月15日(土) 「企業の森・エムオーテック(あきる野)」 下刈イベント(作業面積0.1ha) 参加者18名
⑨	10月18日(火) 「企業の森・社団法人青梅法人会(長淵)」 植樹イベント(広葉樹400本) 参加者30名
⑩	10月29日(土) 「新宿の森 あきる野(企業の森)」 植樹イベント(広葉樹1000本) 参加者145名
⑪	11月20日(日) 「東芝府中・日の出の森」 森林整備イベント(間伐体験等) 参加者24名



平成 24 年春の花粉飛散予測について

平成 24 年 1 月 19 日、東京都花粉症対策検討委員会が開催され、都内における今春のスギ・ヒノキ花粉に関する飛散予測の検討が行われました。

花粉飛散数は、花粉が多く飛散した昨年約 1 割から 2 割 (11% ~ 19%) 程度、例年 (過去 10 年平均) の約 3 割から 5 割 (26% ~ 45%) 程度となる見込みです。また東京都の花粉飛散開始日は 2 月 17 日から 19 日頃とされ、例年 (14 日) より若干遅くなると予想されています。

適切な予防を心がけましょう

スギ・ヒノキの花粉飛散時期は、東京では 2 月上旬から 5 月上旬までです。一般的に次のような日は花粉が多く飛散しますので注意が必要です。

①最高気温が高めの日

②雨上がりの翌日で天気の良い日 ③風が強く晴天で乾燥した日

飛散シーズンに外出する際は、マスクやメガネを着用し、帽子をかぶるなど、花粉が目や鼻に付かないよう注意しましょう。

◆ 2 月 1 日から花粉予報情報が提供されています ◆

○ とうきょう花粉ネット

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kanho/kafun/>

○ 携帯電話向けサイト <http://www.metro.tokyo.jp/k/>

○ テレホンサービス Tel 03-3233-1187



【花粉症予防にはマスクや眼鏡が効果的】

TOPICS マスクやメガネなどの効果

■ マスク

普通のガーゼマスクでもある程度有効ですが、花粉防止用のマスクはより効果があります。最近では、花粉除去効果が高くなるよう、マスク装着時の顔とマスクの間の隙間を少なくした立体型の製品や、息苦しさを減らす工夫をした製品も発売されています。

マスクの効果

	鼻内花粉数
マスクなし	1,848
通常のマスク	537
花粉症用マスク	304

平成13年度厚生労働省アレルギー総合研究事業 研究報告書 日本医科大学 大久保公裕氏

■ メガネ

普通のメガネでも、使用しない時に比べて目に入る花粉数を減らすことができます。顔との隙間の少ないものが良いでしょう。サイドカバーが付いたメガネやゴーグルはより効果的です。

メガネの効果

	付着花粉数
メガネなし	29
通常のメガネ	9.8
防護カバー付メガネ	1.8

平成5年度厚生労働省アレルギー総合研究事業 研究報告書 雑賀善和氏

■ 衣類

花粉の付きにくい生地のできた上着を着用するとよいでしょう。羊毛など毛織物の衣類は花粉が付着しやすく、花粉を屋内などに持ち込みやすいことが分かっています。また、髪の毛に花粉が付かないよう、帽子をかぶりましょう。つば付きの少し深めのものが効果的です。

素材による花粉付着率 (綿を100とした比率)

	付着花粉数
羊毛	980
化繊	180
絹	150
綿	100

平成10年調査 東邦大学 佐藤紀男氏

(出展：平成 24 年版 花粉症—ロメモ)

花粉の少ない森づくり運動 無料メルマガ 花粉飛散時期は増回配信！

花粉の少ない森づくり運動メールマガジンでは、「花粉の少ない森づくり」に関する情報や花粉症予防、東京の森林についてのお役立ち情報を無料で月 1 回配信！

スギ・ヒノキ花粉が多く飛散する 2 月～3 月は、読者の皆さまが花粉症や東京の林業について、より知識を深めることができるような情報を週 1 回のペースでお届けしていきます。

メルマガURL [PC] <http://www.mag2.com/m/0001001295.html>

[携帯] <http://mobile.mag2.com/mm/0001001295.html>



携帯で読み込んで簡単登録♪



森林イベント情報も
随時配信！森を身近
に感じて森林や林業への
理解を深めましょう！

法人会員のご紹介 ～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に賛同しています～

会員を随時募集しています！

会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます！

立山産業株式会社

(本社)

〒197-0011 東京都福生市福生 973
TEL : 042-553-9111 FAX : 042-553-9152
URL : <http://www.tateyama-net.co.jp>
E-mail : eco@tateyama-net.co.jp

“考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号
URL <http://www33.ocn.ne.jp/~zaisho/>
TEL (03) 3862-7081
FAX (03) 3864-9123

新東京木材商業協同組合

理事長 長浦慎一

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13
URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>
TEL: 03-3959-7811
FAX: 03-3958-3592

～木を育てたい。だから木を使おう。～ 社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-8
URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>
TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-8 木材会
URL <http://www.mokuzai-tonya.jp/>
TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

「東京の木の紙」のお問い合わせは

4030 株式会社 シオザワ

〒135-0004 東京都江東区森下 1-3-12 (第二営業部)
TEL: 03-3634-4871 FAX: 03-3634-4872
URL <http://www.shiozawa.co.jp>



多摩産材と暮らそう！

パネ協

日本住宅パネル工業協同組合

Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative

東日本支所
〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7
Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627
URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局 担当：松川・川俣・小林・宮本

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 6-4-1 青梅合同庁舎 3 階

TEL : 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E-mail : moriclub@tdfaff.com